



フラワーバレンタイン推進委員会
〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-6-17
山一ビル4F (財)日本花普及センター内

(プレスリリース)
2011年10月3日

報道関係者各位

花き業界統一キャンペーン「フラワーバレンタイン」 第8回国際フラワーEXPO (IFEX) に協賛出展します

フラワーバレンタイン推進委員会（事務局：東京都中央区、会長：井上英明）は、第8回国際フラワーEXPO (IFEX)（開催期間：2011年10月13日（木）～15日（土））にて、リード エグジビション ジャパン社協賛のもと、ブース出展をし、花き業界統一キャンペーン「フラワーバレンタイン」に関する積極的なご提案を行います。また、今年度（2012年版）のポスターデザイン、その他の新規プラン（申し込み早期割引、東北3県支援）の発表も行います。



▲フラワーバレンタインのロゴ



イベント名：第8回国際フラワーEXPO (IFEX)
（会場：幕張メッセ（千葉県千葉市美浜区））
ブース番号：1-1（第4ホール）
会 期：2011年10月13日(木)～15日(土)
10時～18時（最終日は17時まで）

フラワーバレンタインの2012年版の新キャッチフレーズは、「新しいバレンタイン、はじまっています」に決定。2011年版では、「本物のバレンタインはじめよう」というキャッチフレーズで、世界標準のバレンタイン＝男性から女性に花を贈る2月14日の提案を行いました。この実績を生かし、新キャッチフレーズを用いながらさらなるステップアップを図り、「フラワーバレンタイン」を一般消費者並びに業界内外の関係者の方々に幅広く周知させ、浸透を図ることを目指します。

IFEXでのブース展開のイメージ

(1) 3つのトレンドで仮想店舗ディスプレイ

花店の店頭をイメージした仮想店舗コーナーを設け、商品陳列&ディスプレイを展開します。ここでは、2012年春のカラー×テイストの3つのトレンドをフラワーバレンタイン流に解釈し、商品やディスプレイをご提案することにより、ご来場の方々にフラワーバレンタインの売場を想起していただきます。資料提供：株式会社シモジマ、セロン工業株式会社

(2) IFEX 出展社との共同企画

IFEX出展社の協力を得て、フラワーバレンタインに関連するお取扱商品の展示PRのコーナーを展開します。展示される各商品については、出展企業名・ブース番号を掲示することで、会場での出展社ブースとの連携を図ります。出展社ブース側では、該当商品にフラワーバレンタインのPOPが設置されます。

◎フラワーバレンタイン関連の展示PRの出品者一覧（五十音順）

(株)アスク、(株)アブロード、(株)アベル、(株)アミファ、エフ・プロジェクト(鈴鹿花き)、エフ・プロジェクト((有)桑花園)、大森(株)、(株)カンザキ、(株)紀鳳産業、コロビア・ランド・オブ・フラワー、(株)サカタのタネ、(株)サン・クリエイト(花如庵)、(有)椎名洋ラン園、JA全農兵庫、JA山形おきたま、(株)シモジマ、森海道農園、シミザーズ オアシス ジャパン(株)、(株)晴香園、セロン工業(株)、(有)セントラルローズ、(株)大地農園、(株)タイヨートマー、童仙房ナーセリー&ガーデン、富山県花卉球根農業協同組合、(株)ノルコーポレーション、浜松PCガーベラ、(有)薔薇園植物場、パレス化学(株)、ピーアンドエー(株)、(株)日野洋蘭園、(株)ファーストパック、フジ日本精糖(株)、(株)フローラ・インターナショナル、フローラル工房・桂、フロリード(株)、(株)マックスコーポレーション、(株)ミヨシ、(株)師長商店、(株)ユーロジャパンエレガンス、(有)蘭佳舎（10月3日現在 合計42社）

(3) 初年度（2011年版）の成果報告のためのパネル展示

初年度である2011年版の活動実績、成功事例をパネル展示でご紹介します。

(4) 初年度（2011年版）の実践者とのディスカッションタイム

初年度にフラワーバレンタインに積極的に取り組んだ方々をお招きし、各々の体験談や苦勞話などについて、直接お話ができるディスカッションタイムを設けます。以下のプログラムで実施し、ご希望者はこのプログラムにあわせブースにお立ち寄りいただければ、実践者の体験談等を聞きつつ、その場で質問することができます。

<プログラム>

10月13日(木) 14:00~15:00	小田急ランドフローラ 坂本哲夫(小売) 浜松PCガーベラ 鈴木 誠(生産者)
10月14日(金) 16:00~17:00	ヌボー生花店 山崎年起(小売) 椎名洋ラン園 椎名正樹(生産者)
10月15日(土) 13:00~14:00	フルーロン花佳 薄木健友(小売)

※上記プログラムは、変更する場合がありますので、当日ブース内の掲示でご確認ください。

(5) 「フラワーバレンタイン大作戦～20のチェックシート」の配布

フラワーバレンタインを成功させたい小売店を支援するため、初年度の成功事例を分析し、バレンタインデーに向けて必要な準備などのチェックシートを制作し、配布します。

「フラワーバレンタイン」とは

「フラワーバレンタイン」とは、日本でのバレンタインデーに男性から女性へ花を贈る習慣の定着を目指し、花き業界関係者の参加及び協賛を得て、フラワーバレンタイン推進委員会が企画運営し、昨年度（平成22年度）より実施している花き業界統一キャンペーンです。

これは、所属する組織や団体に関係なく、統一のポスター、統一の商品タグ等を用いて販売促進を横断的に行うとともに、メディア等を活用した共通プロモーションを実施する、業界初の試みです。

なお、これに参加・協力するのは小売業者だけでなく、生産者、流通業者、資材業者、その他関係者などから、幅広い参加を得ながら、業界全体の取り組みとして行っています。

初年度となる昨年の参加花き専門小売店はのべ約8千店です。これは、全国生花店の約3分の1（全国の花き専門小売店の総数＝約2万4千店（平成19年）、出所：経済産業省「商業統計表」より）に相当します。これらの店頭では統一のポスター、統一の商品タグを用いられPR活動が行われました。花き業界でこれだけの規模での展開は初めてのこととなりました。

今年度は、7月よりフラワーバレンタイン推進委員会による委員会活動をスタートさせ、具体的な企画運営について検討を行っています。

「フラワーバレンタイン推進委員会」とは

花き業界の有志により編成され、2010年11月9日に発足。バレンタインデーを新たな花きの需要期とするための取り組み「フラワーバレンタイン」を企画運営しています。

<フラワーバレンタイン推進委員会 構成企業・団体> (2011年7月13日現在)

- 株式会社i879
- 株式会社イーフローラ
- MPS ジャパン株式会社
- 株式会社小田急ランドフローラ
- ジャパンフラワーネットワーク株式会社
- 第一園芸株式会社
- 株式会社ディノス（フジテレビ フLOWERネット）
- 株式会社東光フローラ
- 株式会社パーク・コーポレーション
- 株式会社日比谷花壇
- 社団法人日本生花通信配達協会
- 社団法人日本フローラルマーケティング協会
- 財団法人日本花普及センター

◆本リリースのお問い合わせ

フラワーバレンタイン推進委員会 事務局

住所：東京都中央区東日本橋 3-6-17 山一ビル 4F

TEL：03-3664-8739 Fax：03-3664-9743 メール：jfpc@jfpc.or.jp

担当：本田

◆公式ホームページ（プレページ） <http://www.flower-valentine.com/>

※ホームページの一般消費者向け本アップは2011年12月1日を予定しています。